

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	黒岩
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4186 観光・誘客宣伝事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	05042600 観光産業の振興						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光の振興を行い、多くの観光客が訪れることにより、須坂市の活性化を図る。				須坂市を多くの人に知っていただくためのプロモーション活動、シティーセールス活動により、多くのお客様に須坂市を訪れていただき、また、繰り返し訪れていただくために、市外、県外に向かって広く情報を発信、PRする。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。 H29信州DCに向けた観光誘客の方策を検討する。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。信州DCで長野県との連携や市内イベントのPRにより誘客を図る。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。「信州須坂プロモーション事業」により、当市の魅力映像をインターネットでの配信や全国のCATVで放送等により誘客宣伝を実施する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。「信州須坂プロモーション事業」により、当市の魅力映像をインターネットでの配信や全国のCATVで放送等により誘客宣伝を実施する。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。「信州須坂プロモーション事業」により、当市の魅力映像をインターネットでの配信や全国のCATVで放送等により誘客宣伝を実施する。

指標名	観光案内所の観光客利用者数				
算式	観光協会窓口での観光案内数+交流センター入館者数-交流センター多目的ホール利用者数				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	21,100	15,800	16,800	18,800
	実績	14,807	15,159		
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる。				
最終年度目標の根拠	平成28年度14,807人に対し年間1,000人増を目指す。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		50,215	48,687
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	49	0
一般財源		50,166	48,687
人員数 (人)	正規職員	1.6	1.7
	嘱託職員	0.4	0.4
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	11,438.4	12,153.3
	嘱託職員	1,106.4	1,106.4
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,544.8	13,259.7
市民一人当たりの経費		1.2	1.2
総額		62,759.8	61,946.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	9	賞賜金9
11節 需用費	2,655	消耗品131、印刷製本費2,419ほか
13節 委託費	32,074	観光写真撮影委託100、観光案内誘客業務22,000ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	13,310	各観光団体等会費及び負担金・イベントに対する負担金13,310
その他	2,167	旅費379、役務費1,679、借上料100、公課費13ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	賞賜金10
11節 需用費	3,418	消耗品371、印刷製本2,850ほか
13節 委託費	30,230	観光写真撮影委託230、観光案内誘客業務22,000ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	12,590	各観光団体等会費及び負担金・イベントに対する負担金12,590
その他	2,439	旅費550、役務費1,776、借上料100、公課費13ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	総合計画（後期基本計画）の重点プロジェクト及び総合戦略の目標及び指標となっている交流人口の増加には観光誘客事業は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	目標に達していないため、効率的な誘客の新たな手法等により誘客を図ることが必要。 須坂の魅力ある映像をインターネットでの配信や全国のCATVで放送を今後予定している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	総合計画（後期基本計画）の重点プロジェクト及び総合戦略の目標及び指標となっている交流人口の増加には観光誘客事業は必要不可欠である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

H29年度は、夏から秋にかけての断続的な大雨や台風による天候不順の影響により、観光客が遠のいた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>長野県の特徴である山岳観光の充実を図り、国の名勝である米子瀑布群の保存活用の検討や、峰の高原スキー場の新たな事業者との連携を図りながら、関係機関と共に新たな観光客を呼び込むための施策として有効</p>		<p>四季折々の観光資源（素材）を活かしながら、近年来訪が多いインバウンドも含め、関係機関等と連携した観光誘客を進める。また、実施事業については一過性のイベントに終わらぬよう、総括を行うことが求められる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	